

～ 徳島から発信する、農業の未来～

JAとくしまけん Letter

2025

1

No.5

謹賀新年



JA徳島県
公式 Instagram



JA徳島県

農業を
元気に!

「阿波の狸まつり」で 青果と米の消費宣伝

当JAは11月2、3日の2日間、徳島市の藍場浜公園で開催された「阿波の狸まつり」に出店して青果と米を販売し、消費宣伝活動に力を入れました。4月の合併後、当JAと管内の農産物の知名度を高めるため、青空に農産物を描いた鮮やかな法被とのぼりを制作し、「農業を元気に！」と力強いメッセージを印字し、イベントに臨みました。

2日はあいにくの大雨でしたが、3日は快晴で、多くの来場者が訪れました。新鮮なチンゲンサイや小松菜などの葉物、シイタケ、ミニトマト、ナス、ミカンと、13品目の野菜や果樹、米を特価販売し、消費者から「安くて嬉しい」と好評で、早々に完売しました。

当JA本店の岸下参事は「JA徳島県は、管内に様々な農産物があり、産地等を直接PRできた。これからもおいしい農産物を提供できるように農業を元気にしていきたい」と意欲を燃やしています。



神山マルシェ 2地域からフレッシュミズが出店

海部地区女性部フレッシュミズ部会「かいふフレッシュミズ95%」とJA徳島女性協フレッシュミズ部会の戸来陽子会長は10月26日、名西郡神山町の「神山マルシェ」に出店しました。今年4月の9JA合併後、県南の海部支部と戸来会長の名西支部で地域を越えた、フレッシュミズ部会の交流ができました。

「かいふフレッシュミズ95%」は、海部郡海陽町から片道100kmの道のりをはるばる訪れました。有名な「きゅうりタウン」で栽培した特産きゅうりを使った加工品「きゅうりジャム」の消費宣伝に力を入れました。来場した子どもたちは「きゅうりジャム」の珍しさに興味津々で、試食を楽しんでいました。

戸来会長は、神山特産の梅と海部特産のきゅうりを使った「梅白あん」と「きゅうり白あん」の小判焼きを焼きました。梅色ときゅうり色の小判焼きが幅広い世代から好評を得ました。しめ縄等のワークショップも開き、参加者が見事なしめ縄を完成させました。また、戸来会長が郷土食の伝承活動のために加入している神山町下分生活改善グループのよもぎだんごも販売しました。



子どもたちはきゅうり
ジャムに興味津々

小判焼き

2地域交流大成功!

よもぎ団子も人気!



新年のごあいさつ

代表理事組合長 橋本 浩

謹んで新春をお祝い申し上げます。組合員、利用者の方には、ご家族お揃いで輝ける新年のよき門出をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、当JA事業全般にわたり、深いご理解とご協力をいただいております。さて、現在の世界経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、ウクライナ情勢の混迷や中東情勢の不安、燃料・原材料等の価格高騰、世界的なインフレの加速とその抑制を目的とした利上げによる景気低迷、急激な為替の変動等、極めて不安定な情勢にあります。農業・JAをめぐる状況は、担い手不足や高齢化に歯止めがかからない状況にある中、肥料・飼料・生産資材の高騰などにより生産コストが増加の一途をたどり、早急な農畜産物販売価格への価格転嫁が至上命題となっております。JAグループの総力を結集し、販売力強化や生産資材コストの低減に向け、全力で取り組む所存です。政府はこうした大きな情勢変化に対応し食料安全保障を強化するため、農政の憲法とも言われる「食料・農業・農村基本法」を改正しました。農政が大きな転換期にある中、国は農業が持続的に発展する結果として国内食料生産の維持拡大が図られ、食料安全保障の確保につながることを忘れてはなりません。食料自給率を上げるのが目的ではなく、地方の基幹産業である農業の持続的発展こそが重要であるのではないかと考えます。

一方、県内の農業では春にんじんやブロッコリー等の販売環境は良好であり、農産物販売には明る

い兆しもありました。近年では例を見ない、コメ価格の高騰についても、適正な価格形成こそ、日本農業の持続的な発展や食料安全保障にもつながり、消費者の皆さまの理解醸成が重要となります。JA徳島県管内では地域の特性を活かした多種多様な品目の生産が行われています。合併のスケールメリットが発揮できるように、基幹品目の「春にんじん」「レタス」「ブロッコリー」を始め、地域特産品の「ゆず」「らっきょう」等、既存の地域ブランド品目の生産維持拡大を図り、また「なす」「すだち」などの周年供給体制を確立し、ロット拡大により計画・安定出荷の取り組みを進めてまいります。こうした情勢のもと、当組合では不祥事の発生を踏まえた再発防止策の徹底に取り組みを進めました。引き続き、組合員や地域の皆様からの信頼回復に向けて対応を進めてまいります。最後になりますが、時代が大きく変わる中で、JAが果たすべき役割を再認識し、「組合員の、組合員による、組合員のためのJA」の協同組合の精神を志として事業に邁進してまいりますので、本年も皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。重ねてご家族ご一同様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

JAグリーン創業祭開催!

JAグリーンアグリ板野、どなりマルシェの2店舗で11月16日、17日の2日間「JAグリーン創業祭」を開きました。毎年恒例の大型イベントで、今年も多くのお客様で賑わいました。当日はあいにくの天気でしたが、開店前からお客様の行列ができていました。

青年部による焼き芋、創業祭恒例のバナナのたたき売り、フードトラック、軽油のガソリン5円引き、ガラガラ抽選会など、様々なイベントを開きました。店内では、旬を迎えた青果物や季節の花、加工品、農業資材などを感謝価格で販売しました。

来年も開催予定ですので、皆様のご来店お待ちしております!



抽選会の様子



ご来店ありがとうございました!

みよしふれあい産直市 大収穫祭

みよし営農経済センターは11月17日、センターに隣接する直売所「みよしふれあい産直市」で大収穫祭を開きました。毎年産直への出荷者団体と協力して行う恒例行事で、今年も多くのお客様で賑わいました。

物価高騰への家計応援をテーマに、新米すくい、野菜・いりご詰め放題を実施し、人気でした。出荷者団体「さざんかの里」によるお好み焼きと焼きそばも好評で、早々に完売しました。また、三加茂女性部によるスコープ三味線やダンスの披露もあり、会場が盛り上がりしました。子どもを対象とした防災クイズ大会では、参加者全員にアイスクリームのプレゼントがあり、大喜びでした。最後に「福投げ」と題した紅白餅投げと菓子投げをし、子どもから大人まで楽しんでいました。

ふれあい産直市運営協議会の近藤吉正会長は「日頃から多くのお客さまにご利用いただき、恒例の大収穫祭にも多くのお客さまにお越しいただけたことにとっても感謝している。これからも新鮮な野菜を生産・出荷できるよう努力していきたい」と期待を込めました。



三加茂女性部による踊り



新米すくい



いりご詰め放題

担い手紹介

福井さん夫妻 農福連携を目指して

吉野川市山川町の福井秀伯さん(45)、真理さん(43)夫妻は、農福連携を目指して新規就農し、4年目となります。就農するまで秀伯さんは自営で鉄工所、真理さんは生保営業マンとして活躍していました。真理さんの両親が兼業農家のため、土地を引き継ぎ、長女に障害があることから、将来は障害を持つ人々の就労場所にしていきたいと大きな目標を掲げ、就農を決意しました。夫妻は経営も一から学び、近年の気温高にも負けず、熱心に農作業に汗を流しています。半年前には次男が独自で新規就農したほか、2年前には真理さんの姉も新規就農するなど、周囲に就農の輪を広げ、地域農業を活性化しています。

年間ブロッコリー3.1ha、白ネギ70aを栽培し、赤ネギ5aを試験栽培しています。就農1年目は栽培に苦戦し、周囲の若手農家に様々なことを教わり、試行錯誤を繰り返しました。2年目からは栽培が順調にできるようになり、高品質なブロッコリーの栽培に喜びを実感しました。定植から2カ月で収穫できるブロッコリーとは対照的に、白ネギは除草作業に苦労しながら種まきから収穫までに約1年かかり、労力がいらいます。白ネギと赤ネギは、同市のブランド認定を取り、知名度向上に取り組んでいます。白ネギは「阿波高越ネギ」、赤ネギは「阿波の紅恋葱」というブランド名です。県内に4台ほどしかないという、ネギ収穫機を導入しており、作業効率の向上に繋がっています。

夫妻は「農業で人の雇用が生まれるよう地域活性化し、社会貢献していきたい。しっかりと稼げる農家になり、若者に農家が儲かる仕事だと、伝えていきたい。障害を持つ人々がバスで送迎を受けて家から作業所に通っていることが多いため、将来は障害者就労施設を建設し、施設で生活しながら農作業ができるよう、自立支援していきたい」と展望を語りました。



「木頭ゆず」フランスで消費宣伝



当JAや那賀町等で構成する木頭ゆず振興協議会は10月19日から23日まで、フランス・パリ郊外で開催された食品見本市「SIAL Paris 2024」で特産「木頭ゆず」の消費宣伝をしました。582㎡の大規模ホールで、欧州地域への販路拡大と知名度向上を目指し、当JA木頭事業所の井岡所長、生産者の石原マミさん、西岡稔高さんが参加しました。

「SIAL Paris 2024」は、欧州最大級の国際総合食品見本市で、多くのバイヤーと商談できる機会があり、欧州市場のみならず、海外市場への新規参入や販路拡大へ期待が高まります。

「木頭ゆず」はフランスとドイツへ出荷して11年目となります。風土や伝統が育んだ特色ある地域産品を保護する地域ブランドの証として、農水省より地理的表示保護制度(GI)認定を受けています。青果と100%果汁を展示し、果汁の試飲や青果の皮を切って香りを楽しむコーナーを設け、欧州各国の消費者やバイヤーから爽やかな香りと味が高評価を得ました。

井岡所長は「人気があり、手応えを感じた。今後も出荷量を増やし、より多くの国の人たちに知ってもらいたい」と期待を込めました。

石原さんは「フランスでとても人気があり、嬉しい反面びっくりもした。レストランのシェフの方たちにはフランスでの入手方法などを聞かれた。これからはもっと世界中の人たちに『木頭ゆず』を知ってもらい、販路拡大に貢献していきたい」と笑顔を見せていました。



フランスの消費者からも大人気!

徳島県総合防災訓練に参加

11月7日、鳴門市で開催された県主催の「徳島県総合防災訓練」に、本店金融部融資課の熊野職員が参加しました。県やJAバンク徳島信連と協力し、災害時の農業関係融資の相談対応を想定し、訓練しました。当JAは、美馬市木屋平、三好市池田町、那賀町に金融移動店舗車を走らせ、山間地域での土砂崩れなどの災害を想定し、金融サービスを提供できるよう、完備しています。

JAバンク徳島信連管理部の坂東課長は「お客様から災害時に通帳や印鑑、キャッシュカードがなくても入出金ができるのかとよく聞かれるが、全国どこでも同じ対応ができるよう事務手続きで定められている」と強調しました。

熊野職員は「今年8月に南海トラフ地震臨時情報が発表され、組織の中でも防災意識が醸成されていると感じる。今回の経験を共有し、大災害時には冷静に対応したい」と気を引き締めていました。



(株)アグリサポート上板 鳴門育苗センター新設工事 起工式

11月5日、鳴門市大麻町板東でJA徳島県の子会社(株)アグリサポート上板が新設する育苗施設の起工式が執り行われました。JA徳島県の役員、(株)アグリサポート上板の役員および全農とくしま、施工会社など関係者17名が出席しました。

本育苗施設は、JA徳島県が発足したことに伴う管内の広域化に対応するため、農林中央金庫のふるさと共創事業等の助成金を活用し、鳴門市大麻地区に新設されることとなり、水稻苗やブロッコリーなどの野菜苗の供給を行う予定です。

また、本育苗施設の新設に先立ち、JA徳島県および(株)アグリサポート上板は鳴門市と包括連携協定を結んでおり、育苗施設を起点として、高齢者や障がい者の雇用・遊休農地対策（水稻の裏作）など地域農業の課題解決にも取り組んでいきます。

今後、緑化施設や育苗ハウスを整備し、令和7年3月に完成、令和7年4月からの稼働を予定しています。



▲ 儀式を行うアグリサポート上板・横田社長



▲ 起工式に参加する関係者(鳴門市大麻町板東)



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



橋本組合長挨拶



「たくさんの方がご来場されました!」

「JA共済アンパンマン 交通安全キャラバン」開催

10月13日(日)、子どもたちに交通ルールやマナーを身につけてもらおうと、JA共済連徳島とJA徳島県は藍住町総合文化ホールで「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開催しました。

ステージ上で「それいけ! アンパンマン」の仲間たちが登場し、子どもたちの歓声が沸き起こりました。午前と午後の2回開かれたイベントには、親子188組725人が参加しました。アンパンマンたちと一緒に歌や踊りを通じて、交通ルールやマナーを楽しく学びました。

イベントの最後は、握手会も開かれ、子どもたちは満面の笑みで握手を求めました。参加した母親は「親子で一緒に楽しめた。子どもが交通ルールを学べるいい機会になった」と話しました。



「アンパンマンたちと握手!」



牟岐女性部

「牟岐茶」と「実生ゆず茶」で

化学反応



牟岐女性部は2024年春、牟岐町の知名度向上を目指し、農産物「モリンガ」と阿波藍をブレンドしたハーブティ「牟岐茶」を開発しました。同町は人口約3500人の海がきれいな町です。ティーパックにお湯を注ぐと鮮やかな藍の青色が広がるよう、表現した逸品です。3年前に商品化した「実生ゆず茶」を加えると紫色に変化し、化学反応が起き、ほっとする優しい味わいになります。

スーパーフードとして認知されているモリンガには、90種類以上の栄養素が含まれています。牟岐経済センターが同町と県と共に県南の暖かい気候を生かして約3年前から栽培を進めています。同女性部の溜口幸子部長を中心に生産者5戸で約50aを栽培しており、同町で栽培したモリンガを使って魅力ある商品を作りたいと、阿南市の「こはる日和」に製造を依頼し、パッケージもニューヨーク在住の世界的有名ブランドを手掛けるデ

ザイナーが作成し、コンセプトは美をイメージした日本の美しさをイメージできるよう、和服の後ろ姿とモリンガで表現しています。

同町では特産「実生ゆず」の取り組みにも力を入れていて、種から植えて果実を収穫できるまでに18年かかり、牟岐町では50年以上の木が多く、高齢化で搾汁用としての原料出荷を中心に生産者20戸が奮闘しています。溜口部長と女性部役員は「牟岐茶と実生ゆず茶の色と香りを味わって楽しんでほしい。スッキリしていて飲みやすいので、女子会で使ってほしい。ぜひ牟岐茶と実生ゆず茶のセットで買ってほしい」とPRします。



商品は、徳島駅地下「KONDO-SYOTEN」他県内6カ所にて販売しており、牟岐茶が1,380円(税込)、実生ゆず茶が500円(税込)です。お問い合わせは[牟岐経済センター] ☎0884-72-0331まで。

れんこん出荷順調 藤井さん夫妻

鳴門営農経済センターでは、れんこんの出荷が順調です。鳴門市大麻町で露地とハウスを組み合わせ、重粘土質の圃場で「備中」、「ロータス」、「オオジロ」を周年栽培しています。ハウス栽培は6月中旬から出荷が始まり、露地栽培は8月上旬から出荷が始まります。11月8日は「イイハス」と読めることから「徳島県れんこんの日」として親しまれています。

管内65戸の生産者は、れんこん掘機でれんこん畑の上土を20~30センチ除き、丁寧に熊手で掘り、収穫しています。関西市場から「キメが細かく色白で高品質だ」と、高評価を得ています。れんこんは先が見通せる縁起の良い作物として、年末需要に合わせて出荷し、おせち料理などに用いられる人気商材です。

2013年に新規就農でれんこん栽培を始めた藤井優希さん(37)、夏実さん(37)夫妻は、主に「ロータス」、時期により早生「オオジロ」を3.8ha栽培しています。毎朝子どもたちが起床する前の早朝5時半よりれんこんを洗う作業を始め、朝食をすませて子どもたちを学校へ送り出してから圃場でれんこんを手掘りで収穫、出荷作業を繰り返し、1日約200kgのれんこんを収穫しています。夏場のハウスの中での作業は50度を超えるため、大変な苦勞があります。れんこんの洗い場では、筒状の専用のれんこん洗い機を使って洗っています。藤井さん夫妻は「シャキシャキもちもちなので、レンジでチンして塩マヨネーズで食べてほしい」とお薦めのレシピを紹介しました。



直売所

「ひまわり農産市 鴨島店」で職場体験

直売所「ひまわり農産市鴨島店」は11月13、14日の2日間、吉野川市立鴨島第一中学校の2年生の生徒4人の職場体験を受け入れました。同店舗は、今年3月にリニューアルオープンしたばかりで、地域から親しまれています。

大島店長が店内を案内して仕事の説明をしたのち、生徒らはタマネギやジャガイモ、ゴボウなどの野菜のラベル貼りや店頭への陳列のほか、商品の補充を体験しました。

生徒は「いつもお母さんと直売所に買い物に来ており、野菜は身近で仕事は楽しいけど、働く親の大変さがわかった」と話しました。

大島店長は「職場体験を通じて、直売所や地域の農産物へ興味を持ってもらいたい」と期待を込めました。





すだちの園地でドローン試験散布



ドローン散布をする関係者



使用したドローン

神山営農経済センターは10月11日、中山間地域の神山町のすだちの園地で、ドローンを活用した病害虫の防除の試験散布を行いました。農家やJA関係者らは、防除作業の軽労化に期待を寄せています。

試験散布は、県農業支援センター、同町役場の協力の下、実施しました。ドローンのオペレーターは、高知県にある(株)入交アグリグリーンが担当し、6人の関係者らが見守りました。

同町の5カ所の園地約34aを1日かけて巡回し、果樹用のドローンを用い、1本1本丁寧に散布しました。使用した農薬は、銅水和剤「ICボルドー66D」で中世のフランスで誕生した歴史のある殺菌剤です。すだちなどのかんきつ類に発生しやすい細菌性の病害「かいはよう病」の防除を目的に収穫後の葉に散布しました。

散布した園地の農家は「通常であれば2時間はかかる作業も30分でできるため、労力軽減につながるができる」と話しました。

JAの森下営農指導員は「散布の効果を調査し、ドローン散布の実用性を検討していきたい」と今後に向けて意気込みました。

令和6年度 第62回 徳島県肉牛共励会

11月15日、大阪府で「令和6年度第62回徳島県肉牛共励会」が開催されました。大阪市の中央卸売市場南港市場で行われ、枝肉の品質を競いました。

全30頭出品されJA徳島県管内より出品された肉用牛は13頭で、最優秀賞に黒毛和牛の部で吉野川市の北谷昌也さん、交雑牛の部で同市のノースバレー(株)が受賞しました。



賞状を受け取るノースバレー(株)の北谷隆策社長



北谷昌也さんが出品した受賞牛枝肉

受賞された皆様おめでとうございます!!

賞	黒毛和牛の部	交雑牛の部
最優秀賞	北谷昌也 さん	ノースバレー(株)
優秀賞	(有)阿波キャトル	義岡ファーム(株)
優良賞	(株)ICO	立田牧場

脇町営農経済センター 岩倉小学校稲刈り体験学習



脇町営農経済センター営農指導課は10月2日、美馬市の圃場で同市立岩倉小学校の5年生の児童20人に稲刈り体験学習を開きました。同センターは20年以上この体験学習を続けています。児童たちは、三宅課長から鎌の使い方を教わり、6月上旬に自分たちで田植えした「ヒノヒカリ」の収穫に励みました。コンバインに収穫した稲を運び、実りの秋を楽しみました。児童たちは学校でアイガモ農法についても勉強しており、稲刈り後には同課に「おいしい米作りへの情熱は」と質問をし、「農家さんとJAが一体となり、試行錯誤を繰り返して栽培技術向上に努めている」と学び、充実した様子でした。

三宅課長は「体験学習を通して農家の大変さを知り、お米を大切に、農業への理解を深めてもらいたい」と期待を込めました。

ブランド酒米「阿波山田錦」 全国新酒鑑評会で金賞受賞



ブランド酒米「阿波山田錦」は、阿波市阿波町の土質などの基準を満たす厳選した水田のみで栽培しており、全国の純米酒にこだわる本格派の酒造会社に全農とくしまを通じて、県内では唯一、日新酒類に出荷されています。

2023年産の同酒米を使用して造られた大吟醸酒「瓢太閤」が国内で最も権威のある2024年度全国新酒鑑評会において2年ぶりとなる金賞を受賞しました。

日新酒類株式会社太閤酒造場（阿波市土成町）の取締役製造部長・富山聡弘さんは「例年よりも吟醸香はややおとなしめだが、華やかで、甘味と酸味のバランスがとれた酒に仕上がった。今年も猛暑で生産しにくい状況が続いていると思うが、金賞を獲得したことで産地の農家の方の励みになれば嬉しい」と栽培終盤を迎える産地への期待を語りました。

「瓢太閤大吟醸金賞受賞酒」は、同社の酒類販売所他、県内の一部酒店にて数量限定で販売されています。ぜひ新年を「阿波山田錦」の日本酒で迎えていただけますよう、よろしくお願いたします。





土成小学校 児童稲刈り体験

土成営農経済センターは9月19日、阿波市土成町の土成小学校5年生を対象に手作業による品種「あきさかり」の稲刈り体験を開きました。5月の田植えに続き、JAと同小学校が連携する食育活動の一環として行われました。

児童たちは、収穫前にJAの営農指導員から鎌を用いた安全な収穫方法や収穫後の稲の扱い方などの説明を受けました。収穫の序盤は初めて使う鎌の扱いや太い稲に苦戦しながらも、徐々に慣れ始めスムーズに稲刈りをすることができました。

稲刈りを終えた児童たちは「稲が太くて刈るのが大変だったが、初めての体験で楽しかった」と笑顔で話しました。

収穫した稲は精米して小学校に贈り、体験した児童たちに提供しました。



いちご「さちのか」出荷順調

アグリあなん営農経済センターでは、10月28日からいちご「さちのか」の出荷が始まり、順調に続いています。早出し出荷している栽培歴40年のベテラン農家、乾理悦さん(77)は、11月1日に33パック(1パック250g)を出荷しました。乾さんは、高設栽培により8000株15aをハウスで栽培しており、苗を夜冷庫に保管し、早出ししています。今年産は、気温高で苗立てから苦戦し、8月下旬の定植時も夜30度あり、栽培に苦労しました。

乾さんは「今年も消費者の食卓に一番果のおいしさを届けたい。いちごを味わって幸せな気持ちになってもらえたら」と期待を込めました。

北島町

小学生れんこん収穫見学

北島町のれんこん農家松岡庄司さんの圃場で、小学3年生の児童を対象にれんこん収穫見学・勉強会を開きました。同町の3つの小学校の児童たちが3日間に分けて参加しました。

児童たちは、はじめにれんこん収穫の様子を見学。その様子を見た児童は「れんこんが細長いのは知らなかった」と歓声を上げました。

その後、松岡さんはれんこんの栽培方法や農家の仕事について話し、児童たちは真剣な眼差しでメモを取りながら聞き「おいしい食べ方は」「台風の対策はどうしているのか」など積極的に手を挙げて質問。れんこんや農家の仕事について深く知ることができた貴重な機会となりました。



阿南市立大野小学校 稲刈り体験学習

阿南市の農家、阿部正則さん(74)は9月11日、地域の農家と協力し、同市立大野小学校の5年生の児童13人に稲刈り体験学習をしました。この行事は10年以上続けています。児童は、5月に自分たちで田植えした「あきさかり」の稲刈りの仕方を教わり、一生懸命刈りました。稲刈り後には阿部さんたちに白米と玄米の違いや栽培について質問し、ワークシートにメモを取り、水管理や心を込めて作るこの大切さを学びました。

阿部さんは「子どもたちに米に愛着を持って農家の大変さを知り、大切に米を食べてほしい」と期待を込めました。



アグリあなん女性部

親子芋掘り大会

アグリあなん女性部は11月9日、阿南市の圃場で親子芋掘り大会を開き、親子で70人が参加しました。阿南市をはじめ、片道60kmの那賀町木頭地区からも大勢参加者があり、賑わいました。女性部の支部長さんたちはこの日のために6月にサツマイモ「紅はるか」のツルを1000本挿苗し、準備してきました。

親子、兄弟、姉妹で協力して掘ったサツマイモは、レジ袋いっぱいになり、約5kgの大収穫になりました。参加した子どもたちは「家でお母さんに豚汁や焼き芋を作ってもらおう」と満面の笑顔で楽しみました。



親子でさつまいも収穫体験

9月14日、北島町の生産者の圃場で板野郡地区管内の小学生までの児童を対象に、サツマイモ「なると金時」の収穫体験を開きました。児童と保護者ら21人が参加。収穫前にJAの営農指導員による勉強会とクイズ大会を行い、楽しみながらサツマイモについて学びました。

圃場へ移動し、生産者やJAの営農指導員から説明を受けながら、収穫だけでなく葉や茎の除去、マルチのはぎ取りなど生産者が収穫前に行っている作業も含めて体験しました。

参加した児童は一生懸命に掘り進め、次々と大きく育ったサツマイモを収穫していきました。体験終了後、収穫したサツマイモを参加者にプレゼントしました。

吉野川市農業後継者同志会

山瀬小児童にブロッコリー、キャベツ定植体験

吉野川営農経済センターの青年部等で構成する「吉野川市農業後継者同志会」10月15日、吉野川市山川町の圃場で同市立山瀬小学校の5年生26人を対象に、ブロッコリーとキャベツの定植体験を開きました。同志会は、女性農業者も4人所属しており、地元で生産するブロッコリーを知ってもらおうと、7年前からこの行事を実施しています。

児童たちは9月に種まきをし、生育したブロッコリー1400株と春キャベツ400株を植えました。手植えのほか、ブロッコリーは定植機での定植を体験し、満面の笑顔で一生懸命挑戦しました。今後は2月に収穫し、直売所「ひまわり農産市川島店」で販売体験をする予定です。

児童は「手植えは難しかったけど、定植機は簡単で良かった。暑い中、農家さんが栽培していることが分かり、ありがたいと思った」と話しました。



麻植西部支部女性部

クラフトバッグ作り教室

麻植西部支部女性部は10月8日、吉野川市で第3回目となる、クラフトバッグ作り教室を開き、25人が集まりました。麻植西部支部女性部の部員が講師となり、交流を深めました。クラフトテープを編んでいく作業は非常に手間のかかる作業のため、部員は9月下旬と10月初旬にも真剣に編みました。今回は、一生懸命取っ手をつけて飾りのキーホルダーも編んで作り、バッグにつけて完成させました。

参加した部員は「丁寧に編んでいくので力が必要で手が痛くなったが、オリジナルのクラフトバッグが作れたので、買い物に出掛けたい」と笑顔を見せていました。

同女性部が製作したクラフトバッグは、直売所「ひまわり農産市鴨島店」で販売するなどし、好評を得ています。



あんしんチェック 現在ご加入いただいている保障内容を確認いたします。

ご契約いただいている**保障内容をチェック**してみましょう。

お子さんの夢を実現するために準備していることはありますか？
死亡など万一のことがあった場合、準備していることはありますか？
がん等の病気やケガ、入院・手術等の治療費や思わぬ負担への備えはできていますか？

理想のセカンドライフについて考えてみませんか？
三大疾病をはじめとした重い生活習慣病になったとき、継続的な治療を受けるための備えはできていますか？

ご自身やご家族の介護・認知症について考えたことはありますか？
身体に障害を負って働けなくなった場合に、準備していることはありますか？

万が一のこと
 がんのこと
 特定疾病のこと
 老後のこと
 介護・認知症のこと
 就業不能のこと

ご契約いただいている**保障内容をチェック**してみましょう。

いへんの事
●火事や自然災害・地震に対する備えは十分ですか？

くるまの事
●自動車事故のリスクに対する備えは十分ですか？

農業の事
●農業をとりまくリスクに対する備えは十分ですか？

JAでは皆さまの不安を安心に取っていただくために、皆さまのもとに伺い**あんしんチェック**(加入内容の確認と保障点検)を行っています！
【“あんしん”は会うことからはじまります】

詳しくはお近くのJA(または担当)にお問い合わせください。

お問い合わせは

JA共済
2024.4 24481220152

JA共済からのお知らせ

おかわりありませんか？

JAでお預かりしている大切なご契約がしっかりとお役に立てるように、現在ご加入いただいている全ての方に近況のご確認をしています。

Q1
ご自身やご家族の皆さまにおかわりはありませんか？
●ご結婚・ご出産
●進学・就職・ご退職
●ご自宅の増改築
●お車のご購入
※該当事項があれば、共済担当者にご対応いたします。

Q2
お身体やお住まいにおかわりはありませんか？
●病気・ケガによる入院・手術等のお心当たり
●自然災害による被害など
※該当事項があれば、共済担当者にご対応いたします。

Q3
ご加入内容についてご不明な点はありませんか？
●最適な保障内容になっているか
●どのような保障内容や期間なのか
※該当事項があれば、共済担当者にご対応いたします。

その他お困りごとがあれば、いつでもJAにご相談ください！

JAはみなさまの暮らしに寄り添います！
●貯金や住宅ローンにかかる相談をしたいとき
●農産物や生産資材の相談をしたいとき
●ご加入されている保障の見直しを行いたいとき

最近いかがお過ごしですか？
お元気ですかキャンペーン
近況確認アンケートに答えるといことが次々。

24481220152

不要農薬 (容器を含む) 回収のお知らせ

1. 回収日時・場所

吉野川営農経済センター地区
令和7年2月7日(金) 9:00~15:00
吉野川営農経済センター・山川経済センター

鳴門営農経済センター地区
令和7年2月12日(水) 9:00~12:00
鳴門営農経済センター(梨選果場倉庫前)
板東経済センター・大毛経済センター
榎木経済センター

脇町営農経済センター地区
令和7年2月12日(水) 9:00~13:00
脇町営農経済センター・グリーン美馬

**板野営農経済センター
土成営農経済センター地区**
令和7年2月13日(木)14日(金)15日(土)
8:30~17:00
JAグリーンアグリ板野・JAグリーンどなりマルシェ
上板サブセンター

2. 回収農薬 液体(液・乳・フロアブル等)
粉・粒体(粉・粒・水和・SG・固形物等)
(水銀剤及びPCBなどは回収出来ません)

3. 荷造り ポリ袋に入れて下さい。(袋内混載可)
※粉剤、ガラス容器などは袋を二重にするなどして漏れ、飛散、流失が無いように荷造りして下さい。

4. 処理費用 風袋込み370円/kg(税込)100g以下は切捨。
※農薬の種類により別途料金が必要な場合があります。

5. 決済 令和7年3月21日 口座より引落(現金払い可)
【購買代金請求明細書】にてご請求させていただきます。

6. 委任状の提出 持ち込み時に委任状への記載をお願いいたします。委任状には住所、氏名の記載が必要となります。

7. その他 対象者は、正と准の組合員及び管内利用者とし、業者(卸し、小売)は対象としません。
その他ご不明な点は、下記までお問い合わせ下さい。

吉野川営農経済センター TEL 0883-24-2324
山川経済センター TEL 0883-42-6666
鳴門営農経済センター TEL 088-689-1001
板東経済センター TEL 088-689-1288
大毛経済センター TEL 088-687-3111
榎木経済センター TEL 088-688-0034
脇町営農経済センター TEL 0883-53-8050
JAグリーンアグリ板野 TEL 088-672-7873
JAグリーンどなりマルシェ TEL 088-637-8228
上板サブセンター TEL 088-694-3360

理事会

令和6年11月29日

協議事項
第1号議案 上半期ディスクロージャー誌について
第2号議案 職員年末賞与の支給(案)について

報告事項
(1) 事業概況(仮決算報告)について
(2) 令和6年度上半期組合員の加入及び脱退の状況について
(3) JA徳島県不祥事未然防止策取組状況について
(4) JA徳島県不祥事再発防止策取組状況について
(5) 内部監査の指摘事項の状況等について
(6) マネロンリスク管理にかかる取組状況について
(7) 令和6年度上半期資産査定結果報告について
(8) JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について
(9) 令和6年10月末実績について
(10) その他

令和6年10月28日

協議事項
第1号議案 不祥事に対する役員の実務責任について
第2号議案 JA徳島県不祥事再発防止策の一部変更について
第3号議案 不祥事の概要(最終報)について
第4号議案 出資金の減口について
第5号議案 規程類の一部変更について

報告事項
(1) 不祥事に関する第三者による当事者案件の調査結果について
(2) JA徳島県不祥事未然防止策取組状況について
(3) JA徳島県不祥事再発防止策取組状況について
(4) 内部監査の指摘事項の状況等について
(5) 組織的影響のある不備事項についての原因分析改善策について
(6) 令和6年度第2四半期コンプライアンスプログラムの取組状況について
(7) 令和6年度第2四半期ヘルプライン運用実績の概要について
(8) 令和6年度第2四半期事務ミス等の発生状況について
(9) 令和6年度第2四半期相談苦情対応状況について
(10) 令和6年度第2四半期反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
(11) 余裕金運用に関する大口信用供与等について
(12) 余裕金の運用状況及び運用計画について
(13) 令和6年度上期 内部監査の結果について
(14) 債権管理委員会の開催予定について
(15) 令和6年9月末実績について
(16) その他

◆各種無料相談◆

アグリあなん営農経済センター(阿南市桑野町上張15)では、各種無料相談を実施していますので、ぜひご利用ください。事前予約が必要ですので、下記の連絡先までよろしくお願いたします。

事前予約先：アグリあなん営農経済センター ☎0884-26-1811【営業時間：月～金(祝日除く)8時半～17時】

税務相談 (9時～12時)	法律相談 (10時～12時)
1月22日	1月7日
2月19日	2月4日
3月12日	3月4日

阿南地域 農業用廃棄ビニールの回収について

日時 令和7年2月4日(火) 午前9時～午前11時30分まで(時間厳守)

場所 アグリあなん営農経済センター ※阿南地域以外のお客様は各営農経済センターへお問い合わせください。

JA徳島県葬祭場のご案内

海部郡	●セレモニーホールはなみち 海部郡海陽町大里字松ノ本77 ☎0884-74-0875	阿波市	●天生西会館 阿波市阿波町西整理5-1 ☎0883-35-8220
美馬市	●やすらぎホール脇町 美馬市脇町拜原40-209 ☎0883-52-1166	●天生東会館 阿波市阿波町野神73-1 ☎0883-35-8003	●天生八幡会館 阿波市市場町大野島字大石10 ☎0883-26-6263
	●やすらぎホール美馬 美馬市美馬町中道北33-1 ☎090-8977-7195		

購買店舗より 重要なお知らせ

スマイルカードをスマホケースに入れますと、スマホの電磁波でカードの磁気がレジで読めなくなる事例が多発しています。スマイルカードは電子機器と接しないようにご留意ください。

犬伏まりの一言



犬伏まりプロフィール

鳴門市出身でモデル・タレントとして活躍中。北島町で「cafe ciel」を経営。四国放送「ゴジカル」出演中。2児の母として育児に奮闘中。

「時短！お節リメイクおかず」です

お節に飽きてきた頃、お酒にもお弁当にもおかずにもなる簡単！時短！とっておきのレシピです。

もちろん、おにしめのれんこんを使用せず生のれんこんでもお作りいただけますのでぜひご参考にしてみてください！

MARI Recipe

レシピテーマ

れんこん



時短！お節リメイクおかず

材料 (2人前)

- れんこん 150g
- えび 100g
- はんぺん 1枚90g
- 紫蘇 お好みで3枚
- 小麦粉 適量



★お節のれんこん、えびを使用してもOK



作り方

- れんこんは5mm強の厚みで輪切りにし水にさらしておく
- えびは、叩いてミンチにしボウルへ、はんぺんはちぎって入れる
- 紫蘇は千切りにし②に加えハンバーグのように練る
- れんこんの水気をふき小麦粉をつなぎ代わりにまぶす
- ③をれんこんで挟み、油多めのフライパンで中火で片面4～5分じっくり焼く
- 両面がキツネ色になったら出来上がり

Point

はんぺんとエビの塩気があるから味付け不要！
 にしめのれんこんを使えば、加熱も一瞬！
 時短！簡単な上に飽きてきた頃のお節の消費と味変を楽しめて一石二鳥です！
 (青のりをまぶして磯部風にしてもよし！甘酢あんや梅だれとも相性よし！)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は取材で大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年も農業に携わる人々の魅力を伝えていけるよう、広報活動に取り組んで参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

企画管理部秘書広報課